

第 191 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 3 年 4 月 30 日（金） 13：30～15：16

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：岡田教育長 宇津委員 金本委員 花田委員 杉野本委員

事務局 河上部長 草刈課長 龍河副参事 山口課長 永田副参事

平岡副参事 鳥居室長 田中課長

書記：日ノ原係長 石田主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった邊参事、猪木迫参事、濱見室長、岩崎分室長、細川分室長、馬場分室長、小松分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 令和 3 年度教育委員会学校訪問について（資料 1）
- (2) 令和 3 年度総合教育会議の議題について（資料 2）
- (3) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) 各課年間スケジュールについて
- (2) その他

1 教育長報告

岡田教育長

4 月に教育長を拝命した岡田泰宏と申します。私は 7 年ぶりに教育委員会に戻ってきた。戻ってきて最初に感じたことは学校に随分と教員の OB の方に入っていて、色々な指導の体制が強化されていると感じた。逆に言えば、それだけ教育課題が増えてきているということだと思うが、7 年の間に現場の様子も変わったと実感している。当時、私が学校教育課長であった時と比べると、職務や責務についても非常に多く、これから皆さん方にご協力いただきながら、しっかりと行政に誠心誠意関わっていきたいという思いである。どうぞよろしく願います。

私が教育長を拝命して、私の思いを少し話したいと思う。このことは校長会の冒頭で話した内容である。内容は 3 点あり、1 点

目は、学校と教育委員会は運命共同体であると思っているということである。互いに力を合わせていけるよう、信頼された関係でありたいと常に考えている。そして学校現場でも様々な課題があると思うが、学校も教育委員会も組織として事に当たっていく。チーム力が問われるとっており、校長先生方には学校の組織も風通しを良くしていただき、チーム力がさらに高まる様なマネジメントをお願いしている。これは教育委員会も全く同じで、学校も教育委員会もワンチームで教育行政に関わっていききたいという思いである。

2 点目は、前石本教育長が退職される時に議会で話されたことであるが、自分は夢を持ち郷土を愛する人を育てたいという思いを持って任務にあたってきたと話された。これは浜田市の教育大綱に定められた理念そのものであり、私もしっかり踏襲し継承していきたいと思っている。この理念を基に教育振興計画が策定されており、後ほど説明があるが、この教育振興計画は今年度いっぱいが期限であり、来年度からの新たな計画を立てていくことになる。その中で今の計画の基になっている5つの視点は変わらないだろうと思っている。その5つの視点を学校の先生方と共有をさせていただいた。

1 つ目は、子どもたちが有用感を得ることができる教育を目指そうということである。自尊感情と置き換えられるかもしれないが、有用感が1つのキーワードである。

2 つ目は、ふるまい向上のための力を身につけてもらいたいということである。

3 つ目は、個人個人の自立は非常に大事なことであるが、公共の中でどう関わっていくかということで「個」と「公」を意識しようということである。

4 つ目は、幼児教育、学校教育、社会教育と年齢を縦軸にした教育のつながりということ意識して計画が作られているが、さらに家庭、学校、地域社会の横軸も意識をした教育を目指すということである。

最後に5つ目は、不易と流行である。このことについては改めて学校に話をした。これからの計画策定の基になると考えており、教育委員会も意識をして進めていく必要があると思っている。

そして最後の3点目は、今年4月から公民館がまちづくりセンターに変わり、社会教育を土台としたまちづくりがこれから進ん

でいく。これまで学校は地域の方々に支えられてきたが、これからは親子で、逆に地域へ出かけて行って、その中で色々な世代の人たちの中で揉まれながら褒められながら、その様な経験ができるよう皆で進める仕組みを作っていきたいと思っている。その様なことを想像して、出来ることから取り組んでいきたいという話をさせていただいた。4月に入って以降、色々と忙しい中ではあるが、以上の3点が私の基本的な考えである。

4月の報告として資料に一覧を載せているため、またご覧いただければと思う。あいさつ回り等で慌ただしく、時間があっという間に過ぎてしまったが、その中で委員方と共有しておきたい内容について報告する。

① 4月1日（木）地域おこし協力隊委嘱式：藤重佳久氏

藤重先生はテレビ番組の「世界一受けたい授業」でも紹介された吹奏楽のカリスマの先生である。長崎県にある活水高等学校吹奏楽部を指導し、全国レベルの吹奏楽のチームを育て上げられた先生である。この方が地域おこし協力隊として浜田市に来られた。現在は浜田高等学校や県立大学で指導しながら、音楽を志して浜田に来られた Biz. Coop. はまだの組合員の方々の指導にも関わっておられる。近いうちに中学校、小学校の音楽指導や、学校教育を離れた場面での音楽指導、「音楽のまちづくり」も目指したいという思いも持っておられるため、教育委員会とも深い繋がりができると思っている。

② 4月6日（火）陳情（サン・ビレッジ浜田アイススケート場存続の検討について）

今、アイススケート場は用途変更をして、別の用途でということが公共施設再配置実施計画で上がっているが、何とか残せないかという陳情を受けている。現在は國學院大学の助教を務めておられる冬季五輪のソチオリンピックで5位入賞された日本のフィギュアスケート選手である町田樹さんが広島出身の方で以前、このアイススケート場を使っておられ、この先生から日本のアイススケート事情等が添えられた意見書として、サン・ビレッジ浜田アイススケート場の重要性について意見を添えられた要望であった。したがって市長からも少し新たな視点でもう少し検討してみようとのことで、その方向で準備を進めている。

③ 4月15日（木）三市三町教育長会（邑南町）：会長・江津市教

育長、監査・浜田市教育長

三市三町教育長会が開かれ、新しい会長に江津市教育長、副会長は引き続き邑南町教育長、私は監査である。2年ごとに持ち回りで会長が代わるということになった。

- ④ 4月26日（月）浜田商工会議所青年部市長表敬（図書寄贈・渋沢栄一の絵本）

浜田商工会議所の青年部から表敬を受けて、図書の寄贈をいただいた。それが渋沢栄一さんのことが書かれた絵本で、学校に配る冊数しかいただいてないため、ご覧いただいて後で回収させていただければと思う。まさに日本の資本主義を築いた渋沢さんの伝記である。分かりやすくアレンジされた絵本をいただいている。

- ⑤ 4月26日（月）懸案事項検討会議（文化スポーツ課、教育総務課、各教育分室）

教育委員会の中では、この様な懸案事項があるということでは内部協議はしているが、1番残念なことは私がまだ学校現場に入れていないということである。1番に入りたかったが、余裕がなかった。おそらく5月7日以降に浜田教育事務所長に随行して学校現場に行くことが最初になる。その後、委員方と学校訪問である。しっかり現場を見て現場の声を聞いて、教育委員会としてできることを考えていきたいと思っている。

それからコロナ関係であるが、昨年度は浜田市の中体連の大会は中止としたが、今年は新型コロナウイルス感染対策をしっかり行った上で実施する方向で考えている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

4月7日に同和会浜田支部の方と面談をしておられるが、内容をみると支部長交代とあるが、どなたに交代されたのか。

岡田教育長
河上部長

山崎会長から佐々木さんに交代された。

県の会長は引き続き山崎会長が務められるが、浜田支部長については佐々木さんに代わった。

宇津委員
金本委員

承知した。

質問ではないが、先ほど教育長が言われた教育長としての考えについて、校長会で話されたことは私も聞いたが、直接、教職員

岡田教育長

の方々に教育長の考えを話される場面がなく、任命式や教研での挨拶等で直接触れる場面がなくなったことが残念である。

私は議会でもまだ表明する場がなく、私の思いを伝えられてないが、まず校長先生方にはお話をさせていただいた。それから今度GIGA スクール構想ということで、一人一台端末が小学生と中学生に配布されるが、丁寧に端末を扱っていただくために冒頭に私からの挨拶を収録して流す予定にしている。教職員の先生方にも端末が配布されるため、その様なかたちで先生方にも見られる時にみてほしいといった流し方はできるかもしれない。やはり思いを共有していくことは大事であると思う。

その他はよろしいか。

委員方

特になし。

2 議題

(1) 令和3年度教育委員会学校訪問について（資料1）

日ノ原係長

資料1をご覧いただき、毎年度開催している教育委員会の学校訪問についてである。

3番の実施期間であるが、昨年度はコロナウイルスの関係もあり2学期の10月に開催させていただいた。それはそれで10月で良かったという話もいただいたが、やはりなるべく1学期に開催した方が良いのではないかという思いもあり、従来どおりである1学期の6月下旬から7月のところで開催のご提案をさせていただきたいと思う。

続いて4番の訪問者であるが、コロナ禍ということもあり、以前まではこの7名の他に教育部長、教育総務課長、学力向上推進室長を加えた最大計10名で訪問していたが、教育部長、教育総務課長、学力向上推進室長とも2年目以上の方になるため、今回は訪問者に加わず、必要最小限の7名で参りたいという提案になっている。

5番の訪問内容については、従来どおり、なるべく校内視察を先に行い、その後ヒアリングという順で、校内視察20分、ヒアリング30分の計50分というかたちで行いたいと思っている。

意見交換のテーマについては、参考までに令和2年度、裏面に令和元年度、平成30年度、29年度、28年度のもの載せている。大体3つ程度、テーマを決定していただき、これに基づいた意見交換を行っているところである。

岡田教育長 本日は実施時期、訪問者、最後に意見交換のテーマについてご審議いただければと思う。よろしく願います。

岡田教育長 それでは一つずつ確認させていただきたいと思う。実施時期を6月から7月ということで考えているがいかがか。

宇津委員 夏休みの直前は少しまずいのではないかと思う。できればもう少し前に実施してほしいと思う。やはり授業を見たい、子どもたちの姿を見たいという気持ち大きい。

岡田教育長 中学校は7月に弁論大会もあり、教室でやり取りをやっているが通常の授業が見たい。できることならお願いしたい。

岡田教育長 承知した。それでは、前倒しで通常の授業が見られるタイミングで設定をお願いします。

日ノ原係長 承知した。

金本委員 タブレットを使っているところを見ることができるか。

日ノ原係長 6月からというところである。

岡田教育長 まだ子どもたちに配っていない。

金本委員 そういうところも見てみたいと思う。

日ノ原係長 6月の最初は議会があるため、議会が終わってからの6月下旬からの日程で考えていく。

岡田教育長 いくつか学校に、その様な授業の一場面を見せてほしいということ伝えて調整してもらいたい。

日ノ原係長 承知した。

岡田教育長 その他はよろしいか。

各委員 特になし。

岡田教育長 訪問者については、コロナ禍ということで、なるべく少ない人数で考えており、ここにある様な、教育長、教育委員方、学校教育課長、総務企画係長だけという対応にしたいと思うが、よろしいか。

各委員 全会一致で承認

岡田教育長 続いて意見交換のテーマについて、特にこういったことが聞きたいということがあれば、今いくつかお聞かせいただきたい。今日出てこないことも後ほどお聞かせいただければと思うが、今の時点で何かあればお聞かせいただければと思う。

日ノ原係長 今日決めなくても、いくつかテーマを出していただくということでよいか。

日ノ原係長 そうである。今日のご意見をいただいて、後は文言等を調整させていただき、まとめていきたいと思う。

岡田教育長	意見交換のテーマとして、こんなことを聞いてみたい等、お聞かせいただければと思う。
宇津委員	真っ先に来るのは学力向上の問題だと思う。特に今年はタブレット端末を個人で持てる状況が生まれた。それをどう活用しているのか、年度末、年度初めに教職員を対象に研修をされたと思うが、それで十分事足りていればいいが、十分でないとすればこれから先生方の研修計画をどの様に学校として考えていくのか。それがひいては子どもたちの学力の向上、タブレット端末を活用した授業に繋がっていくという意味でも捉えておかないといけないと思う。
岡田教育長	1つは、学力の向上の問題について尋ねてみたいと思う。 今の宇津委員のご意見としては、全般的というより特にタブレット端末の活用に絞るということでよいか。それとも全般的なことということであるか。
宇津委員	タブレット端末の活用について、活かされているかどうか。あるいは活かされていないとすれば、どう活かして学力の向上に繋げていくのかということは学校も課題であると思う。
岡田教育長	その他はいかがか。賛同される意見でも、別の視点からでもいかがか。
宇津委員	もう1つ考えて欲しいことが、いじめの問題、不登校の問題、問題行動についてである。学校によっては、今は落ち着いている、その様な問題はないという学校も多いと思うが、この問題は表面化しにくい部分があるため、尋ねてみたいと思う。どの様な実態で、それに対してどの様に対応をしているのか。いじめ、問題行動、不登校も含めて、子どもたちの様子を尋ねたいと思う。
杉野本委員	私もその辺りを聞いてみたいと思う。 学校閉鎖になったおかげで、分散登校になって不登校だった子どもが登校できる様になったということをテレビで見た。逆に生活リズムが崩れて学校に行けなくなる様な子どももあるかもしれない。1年間ずっとこの様な状況下で動いているため、子どもたちが今どの様な状況にあるのか、特に登校状況、不登校、あるいはその中で鬱憤が溜まっていじめの方に動いているのか、問題行動が増えているのか、その辺りも聞かせていただければ嬉しく思う。
岡田教育長	その他は特によろしいか。
金本委員	私も同じ意見である。
花田委員	私も同じく聞いてみたい。

岡田教育長	それでは今の学力向上について、いじめ問題、問題行動、不登校等、学校の現状について、この 2 つを意見交換のメインとしてお話しを聞いていくということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
岡田教育長	それでは今日いただいたご意見を中心にテーマをまとめていただければと思う。よろしく願います。
日ノ原係長	承知した。

(2) 令和 3 年度総合教育会議の議題について (資料 2)

草刈課長	<p>資料 2 をご覧いただき、令和 3 年度総合教育会議の日程の素案とテーマの素案を記載しており、本日もご審議いただきたいと思う。昨年度は最初の日程がキャンセルになり、結局実施ができなかった。</p> <p>今年度は、令和 3 年 6 月 3 日 (木) 13 時 30 分から 15 時 30 分までの 2 時間程度、場所は庁議室を候補として考えている。</p> <p>出席者については、市長、副市長、教育長、委員方、そして事務局として教育部長、教育総務課長である。テーマによっては、担当課長も加わる。</p> <p>テーマについては、2 つほど素案を記載している。まず、(1) 教育の魅力化についてということで、令和 3 年 3 月 16 日に設立した「HAMADA 教育魅力化コンソーシアム」では、5 月 13 日に第 1 回の役員会を開催する予定である。</p> <p>これまで実施してきた高等学校の取組や地域との協働活動を支援するとともに、年間 10 回程度、専門部会を開催し、専門家による助言も受けながら、教育魅力化に向けた具体的なビジョンの策定、コンソーシアムとして取組む事業の構築を図ることが、令和 3 年度の方針である。したがって、教育の魅力化を通じて地域活性化にどう繋げていくのか、またコンソーシアムとして取組む事業について意見交換を行うことが 1 つ目のテーマとしての考え方である。</p> <p>2 つ目に、(2) 教育振興計画の策定についてである。冒頭に教育長からも話があったとおり、令和 3 年度は令和 4 年度から向こう 4 年間の第 2 次浜田市教育振興計画後期計画の策定の年であり、併せて本計画の実施計画である浜田市教育振興計画を策定する年でもある。次期教育振興計画策定にあたり、現計画に記載している主な事業の他に新規事業や拡充事業、特に入りたい事業に</p>
------	--

について、意見交換を行うことをテーマにしてはどうかと考えている。これ以外のところも踏まえた中で、本日も審議いただければと思う。

資料の2ページ目にHAMADA教育魅力化コンソーシアムについての資料を付けている。資料の上段に協働事業として6点、それから参画団体の記載があり、協働のイメージとして図が示されている。この資料については、コンソーシアムについての参考としての資料である。

次のページには、現計画として浜田市教育振興計画抜粋を付けている。冒頭で話した具体的な取組だが、7ページをご覧いただき、来年度、自己点検等でも触れる内容であるが、右側の具体的取組の欄に記載されている「ふるさと郷育の推進」等の事業が挙げられている。これらの事業の他に、新たに他の視点の事業も取り入れるまた、より重点的にやるという意味でその事業を拡充するという様なことを意見交換する場が、先ほど申し上げた2点目の内容である。説明は以上である。

岡田教育長

冒頭に私から教育振興計画の5つの視点について話をしたが、3ページに記載がある。基本的に「5つの視点」に基づいて、具体的な事業を決めていくが、総合振興計画について、総合教育会議に議題として挙げる。また、教育の魅力化についてもあげるということである。

大体、会議のテーマは1つ若しくは2つでされるということで、事務局で2つのテーマを挙げたが、委員方からそれぞれご意見をいただければと思う。

花田委員

この会議に参加するスタンスとしては、この2点について市長の考えを聞くというかたちか。

岡田教育長

あるいは、教育委員会から市長部局に対して考えを示すというように両方向ある。おそらく、教育の魅力化や振興計画の学力向上の取組については、常日頃から言っておられることであるため、その辺りの市長の思いを発言されて、それに対しての意見交換というかたちになると思う。

日ノ原係長

教育委員会と市長との意見交換の場である。

花田委員

できる、できないは別にして、発言しても良いということか。

杉野本委員

教育の魅力化については、3月に設立されたばかりで第1回目の役員会が5月に始まり、今後、具体的に進められるということで、方向性が見えない中で意見を求められるのは中々辛いものが

ある。その辺りは市長の意見を聞かせてもらう方がメインになるという気がしている。

岡田教育長

おそらく、教育の魅力化コンソーシアムについては立ち上がったばかりの状態であるため、事前に教育委員会の中でも確認して臨まないといけないところである。このテーマで決めるのであれば、教育委員会の中はしっかり理解した上で臨むべきである。

日ノ原係長

事務局としては本日テーマを決めていただいて、5月27日の定例教育委員会の後に総合教育会議の事前説明をさせていただければと思っている。

岡田教育長

教育の魅力化コンソーシアムは昨年度中に立ち上げるということであったが、立ち上がったのは3月末であったため、中身もまだまだ咀嚼できていない状況である。事前の確認をさせていただいた上でと計画している。

杉野本委員

資料のイメージ図の中に、教育の魅力化では人づくりによる地域づくりということで協働のまちづくりという言葉が使われたり、4月から公民館がまちづくりセンターに変わること、まちづくりの方向も市が出し、高校とのタイアップということで、おもしろいことが出てくるといいなという気がしている。

岡田教育長

昨年までの取組では、学校現場は地域の方でどういった方がおられるか、どういった人材か分からないことがあったり、学校としてどんな地域貢献ができるかと考えた時に学校と地域の繋がりを持ちたいという思いがあった。コーディネーターを1名置いているが、まだまだ強化しないといけない。協働のまちづくりを進める上でも、イメージ図で示すとそこを盛り込んだかたちになっている。

ただ、市長の思いとどう合わせていくか、その重要性については、私はやはり子どもたちが学校で色々なことを見つけていくだけではなく、地域の中に出かけて行くことで色々な気づきがあると思う。それがキャリア教育や、ふるさと教育に繋がっていくと思っているため、大事な部分であるということを教育委員会としても話をしていく必要があると思っている。

宇津委員

高校生が地域に出かけていくということは、人との交流が生まれる。交流が生まれると情報が共有できる。その取組の中で高校生が自分の学校に誇りを持つ、あるいは地域に誇りを持つようなことを結び付けていくことがより良いと思う。ちなみに津和野高校だったと思うが、地域活動を行う部活動がある。新しい発想で

ある。部活動とは、文化系か体育系かという世界であるが、地域に出かけて行って活動する部があるというのは参考になると思う。良いアイデアではないかと思う。

高校生自らが自分の学校に誇りを持っている状態が生まれないと魅力には繋がってこないと思う。周りがその魅力を作るということはない。

杉野本委員

協働事業の3番目に、生徒確保の強化に関することとある、この部分が遅れていると思う。高校は今、魅力化で他市でも色々な特色を出して、進学校でも総合的な探求学習を強化する学校等ある。どういう特色を浜田で出そうとしているのかというビジョンがこれから話されていくのだろうと思う。県内に2つしかない水産高等学校も1つは浜田市にあるため、その辺りの魅力であったり、まだ十分見えない中で私も情報を仕入れていかなければという気がしている。

岡田教育長

もちろん高校と地域だけではなく、高校の生徒が中学校、小学校に出かけていくことも良いと思うし、教育委員会としても小中学校の児童生徒にとって、やはり事業自体が何かしらの刺激になったり、気づきに繋がると良いと思う。その辺りは勉強会もしつつ、委員方がどの様な思いを託そうとしておられるか話を伺いながら、コンソーシアム自体も事務局を持って進めていく。市長との意見交換があるなしに関わらず、意見をいただければと思っている。1つは市長の考えもあるが、教育委員会から議題の1つとして教育の魅力化を挙げることについて承認いただけるか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

もう1つの議題については、教育振興計画について2つぐらい挙げているが、時間が限られているため、もしかしたら1つになるかもしれない。

花田委員

我々自身が互いに浜田の子どもたちにどうしたらよいかという話をあまりする機会がなく、事務的な内容ばかりであるため、是非この場をお借りして話ができればと思う。

岡田教育長

教育振興計画では審議会がありそこで議論していくわけだが、色々な場面で委員の方が来られるが、そもそも教育委員方がどの様な思いがあるのかというのを十分咀嚼して挙げていければいいが、何となく委員方が多数の中の一構成員の様な薄さでは困るため、少し委員方としっかりと話をしたうえで臨みたい。

それでは、この2つのテーマを議題に挙げたいと思うがよろし

各委員 | いか。
| 全会一致で承認

(3) 浜田市立図書館協議会の委嘱について (資料3)

草刈課長 | 現在の図書館協議会委員は令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年任期で既に委嘱をしているが、所属団体の都合等により、今年4月に委員を変更する必要がある4名の方について選出区分が挙がっている。4名のうち、学校教育関係者の佐田良二さん、吉田英昭さんについては、所属団体から推薦をいただき決定をしている。まちづくりセンター連絡協議会については5月の早いうちに、浜田市PTA連合会については5月11日に決まるということで4月に間に合わなかったため、5月の定例会で諮る。今回は佐田良二さん、吉田英昭さんの2名の方の委員の委嘱について承認をお願いしたい。よろしく願います。

岡田教育長 | 私自身が図書館協議会委員のそもそもの役割がよく分からない。少しだけ説明をお願いする。

草刈課長 | 図書館協議会委員とは、図書館の運営に対して館長の諮問に応じる役割と図書館方針に対して館長に意見を述べる役割、この大きな2つの所掌事務、事項がある。これは10人以内の委員で組織するという下にある様に選出区分が書かれている。左側に選出区分があり、右側には関係所属団体が記載されている。それぞれの団体に推薦のお願いをして委員を選出していただいている。

ちなみに昨年は2回、協議会を実施している。最終的には2月に協議会から意見というかたちで報告もいただいている。内容としては、司書の負担を軽減して労働環境を整えるため、他市を参考にして開館日数を減らすこと、開館時間を短くすることを検討するよう総員一致で提案するといった文書を教育長宛にいただいている。協議会の活動と提言というかたちで報告をいただき、協力いただいている協議会である。

岡田教育長 | 承知した。今回は協議会委員で変わる委員が4名ということでよいか。

草刈課長 | そうである。

岡田教育長 | それぞれの所属団体からの推薦をお願いして、4名のうち2名しか決まっていなかったが、推薦をいただいたとおりに2名の方への委嘱について承認をいただけるか。

各委員
岡田教育長

全会一致で承認
ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

河上部長

令和3年6月定例会議日程(案)(資料4)
6月18日が開会である。今回、一般質問は4日間で行う予定である。現時点では時間短縮や戻すといった話は出ていない。最終日は7月5日である。学校訪問については、定例会議の日程を見ながら調整をさせていただきたいと思う。

岡田教育長

6月中旬以降になると議会で全く動けなくなるため、早めに日程調整をしていただければと思う。

日ノ原係長

6月の定例会を6月29日、30日あたりで考えている。

河上部長

6月当初にタブレットが配布されて、タブレットを使った授業を見てもらおうと思うと児童生徒も少し慣れたあたりで考えると7月の議会が閉会した後でないと難しいかと思う。夏休み直前になれば、また、色々とタイミングが難しくなる。

日ノ原係長

承知した。調整する。

岡田教育長

定例会議の日程についてはよろしいか。

各委員

特になし。

草刈課長

行事等予定表(資料5)
4月30日から5月31日までの予定である。丸を付けているところは委員方に出席いただきたいものである。5月21日、雲雀丘小学校で昨年度末に作成した浜田市立小中学校統合再編計画(案)の説明会を19時から21時の予定で実施する。同じく5月24日には美川まちづくりセンターにて、美川小学校と第四中学校の関係で19時から21時の予定で実施する。日程等については、事前にご連絡させていただいている。それから5月27日は第192回教育委員会定例会である。備考欄に資料番号や別添チラシありと記載しているものについては、後ほど担当課長から説明がある。

岡田教育長

5月の予定の中で浜田市立小中学校統合再編計画(案)の説明会等、委員方にはお出かけいただきたいものもあるため、ご確認いただければと思う。よろしく願います。

宇津委員

5月20日、小体連陸上大会はどのようなかたちで開催されるのか。

山口課長	5月20日に小体連陸上大会は実施されるが、今年は無観客での開催である。なおかつ、4年生以上の選手のみでの参加となり、規模がかなり縮小されている。来賓については、毎年委員方にもご案内しているところだが、今年は無観客の案内はしないということである。ただし、子どもたちの頑張っている姿を見ていただきたいということで、当日来られた際は見ていただける体制は取りたいと聞いている。
金本委員	ケーブルテレビで放送されるのではないかと。
山口課長	そうである。きっとかなりの視聴率になると思う。
岡田教育長	ケーブルテレビも4チャンネル増えて、長尺番組を流せるようになれば、こういった行事等も流せるようになると思う。
杉野本委員	無観客ということは、上の観客席から見のではなく、下の本部席から見ということか。
山口課長	そうである。
杉野本委員	併せて、中体連の役員委嘱が届いており、中体連の行事大会計画を見たが、中体連については無観客等決まっているか。5月の終わりに総体が始まるが情報は入っているか。
山口課長	最終確認は取っていないが、中体連の大会について観客への制限について直接は聞いていない。
岡田教育長	中体連は基本的には保護者1名のみでの観覧、それから来客は呼ばないといった基本的な感染予防の対策をとっていると思うのでまた確認をして、中体連についてはどう対応するのか委員方にお知らせするように。
山口課長	承知した。
岡田教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
龍河副参事	令和3年度公立幼稚園園児数一覧表（資料6） 昨年度、令和5年度に公立幼稚園を統合する方針を示し、計画を付して園児募集を行ったが、令和3年4月1日時点では全園児が38名となった。1月下旬に議会で報告した際には42名であったが、4名減となり、その理由は保護者の転勤による減であった。例年、PTA 連合会から複数の要望を受けているが、その中の1つに公立幼稚園のPRをしてほしいという要望があった。できることはすぐに取り組みたいということで、地域日より、それから卒園者、保護者の声をホームページに載せる様

に昨年から実施している。写真等も載せて園の特色や様子がよく分かる様になっていると感じている。預かり保育等のサービスの充実について、前倒しでできないかということで今年度は園と協議を進めていきたいと思っている。また、新園の建設についても検討していく方針であり、今年のサマーレビューで資料を提出する予定である。

花田委員

長浜幼稚園に、本来なら石見幼稚園に入園する様な住所の園児が長浜幼稚園に流れたとか、長浜幼稚園が予定より数が増えたということはないか。

龍河副参事

他の園に比べたら長浜幼稚園は少し多いかなという感じはしている。だが、今、心配しているのが石見幼稚園の年長児が13名いるが、来年卒園されると年中児が0名であるため、心配している。今年度、新たに入園された園児は15名で、統合の方針を示しても15名入園してくださった。今の年少児が長浜幼稚園に統合することが分かっている入園であるため、その辺りは安堵しているが、未就園児の保護者の方にも説明会を開いて意見交換をさせてもらってよかったと感じたところである。

岡田教育長

今の質問は統合のことを考えて、石見幼稚園に近い方が早い段階で長浜幼稚園に通っている可能性があるかということだが、その辺りは。

龍河副参事

長浜幼稚園の園児の住所までは確認できていない。申し訳ない。

花田委員

本来ならもっと減る予定だったが、17名をキープできたのかなという感触が何となくある。

龍河副参事

そうである。

岡田教育長

もし詳しく分かれば、また教えていただければと思う。

龍河副参事

承知した。

岡田教育長

幼稚園の問題は議会でも非常に関心が高い。総務文教委員会でも幼稚園のあり方について、統合した時の幼児教育センターのあり方についても多くの質問を受けている。今の統合前でも色々な手立てをして公立幼稚園の減少に歯止めをかけるべきではないかという意見もある。1つが給食を提供することはできないか、もう1つが預かり保育の時間を少し長くできないかということで、この辺りも対応できないかと思っている。非常に関心が高いことであるため、また委員方にもご意見をいただ

各委員

きながら、考えていきたいと思っている。

その他はよろしいか。

特になし。

山口課長

令和3年度学校職員名簿（資料7）

令和3年4月に異動があった方は網掛けになっている。校長先生が9名、教頭先生が14名異動となり、ほぼ異動がなかった学校はない認識で、今このような状況で学校運営に当たられている。ご承知いただければと思う。

令和3年度学校別児童生徒数一覧表（資料8）

5月1日が基準日となるが、ほぼ確定しているため報告させていただく。今年度は小学校の新入学が403名で徐々に400名を超えた。特別支援学級が26名、通常学級が377名で足して403名であった。

裏面をご覧いただき、中学校は小学校からの持ち上がりで特別支援学校に行かれる生徒を除いて、405名が中学校に入学した。第四中学校をご覧いただき、本来は美川小学校から第四中学校に入学するが、今年度は男女1名ずつの2名が第四中学校に入学された。小中学校全体の今年度の児童生徒数は3,667名を予定している。平成30年に初めて400名を下回り、その後、減少傾向で著しくきている。ずっと4,000人台をキープしていたが、この3、4年で毎年100人ぐらいは減っている状況である。今後、出生率も低下傾向にあり、学校数、少人数学級、今から国が入るところもあるが、教員の確保の定数の部分がそもそも減ってきており、厳しい状況にある。特にまだまだ複式の学校も小学校で複数校あるが様子を見ながら、中々統合にはならない距離もあるため、考えていかなければならないということも数字から捉えられる部分について紹介させていただいた。

岡田教育長

第四中学校に2名の入学ということだが、昨年度の美川小学校6年生の人数はわかるか。

日ノ原係長

5名である。

岡田教育長

5名の予定が3名は別の学校に入学された。

金本委員

どこの中学校に行かれたのか。

日ノ原係長

転居及び部活動の関係で第一中学校に1名、第三中学校に2名入学された。

岡田教育長
各委員

その他はよろしいか。
特になし。

永田副参事

令和3年度まちづくりセンター職員名簿（資料9）

昨年度までは公民館職員の名簿を提供させていただいていた。昨年度と比較をして、まちづくりセンターに変わったということで、まちづくりの支援等の視点を持って活動してもらうことから職員を増やしている。昨年度は全体で88名であったが、12名増加の100名である。新規採用職員は27名で名簿に網掛けのある方が新規で採用した職員である。この内、センター長が6名、主事が13名である。

令和3年度まちづくりコーディネーター名簿（資料10）

まちづくりコーディネーターについては、協働のまちづくり条例が制定され、まちづくり条例を推進する地域活動を活発にしようということ、今年度からできた制度である。今年度は6名採用しており、それぞれ各地域に駐在をして、現在活動していただいている。三隅については2人で1人というかたちで共同で活動していただいている。表の右側に専門分野とあるが、これまでの経歴等により記載している。専門的な知識を持っておられる方もおられ、駐在はそれぞれの地域の本庁、支所等になるが、この方々の活動エリアとしては浜田市全域で活動するということであるため、地域の課題等によっては2人、3人、もしくは全員で関わるかたちで業務をしていく。

浜田市社会教育アドバイザーの委嘱及び令和2年度の活動について（資料11）

昨年度も長畑先生を社会教育アドバイザーとして委嘱していたが、今年度も引き続いて4月1日から3月31日まで委嘱をさせていただいている。

設置の目的としては、社会教育の方向性、社会教育施設のあり方について指導、助言をもらうということである。今年度については、昨年同様に色々な場面における講師や社会教育委員の会、センター主事やセンター長も多くの方が変わっているため、講師依頼をしていきたいと思っている。令和2年度の活動報告については資料の5番に記載しているため、またご一読

岡田教育長

いただければと思う。

資料 10 のまちづくりコーディネーターが入られて 1 か月弱であるが、主にどの様な活動をされているか参考までに教えていただきたい。

永田副参事

浜田地域の佐々木さんにおいては、旧那賀郡はまちづくり推進委員会が全地域でできているが、浜田ではまだできていないということで、できていない地域に入って設立に向けての支援や派遣の先生と一緒にコーディネーター会に参加して活動していただいている。

金城地域の内藤さんにおいては、地域のまちづくりセンターを回りながら色々な情報収集やこれまでの経験を活かした支援を行っていただいている。

旭地域の塚田さんにおいては、旭でまちづくり委員会が計画策定をしているが、その更新ができていない地域があるということで計画策定のための更新の支援をしていただいている。

弥栄地域の檜谷さんにおいては、弥栄では 2 つのまちづくり推進委員会があり、今年度中に 1 つに統合するために、統合への説明会や話し合いの場に加わっていただき支援をいただいている。

三隅地域の本多さん、小田原さんにおいては、看護師、保健師の資格を持っておられ、コミュニティーナースということで、以前、岡見まちづくりセンターにおいて毎週水曜日に来られた方の血圧を測ったり、健康相談の話を聞いたり、コミュニティーナースとして活動している。先日は井野まちづくりセンターにおいて、センター内での物販に併せて健康体操や血圧測定、健康相談等々のモデル的なプレ的活動を現在していただいている。

それぞれ地域で活動していただいているが、全体の意見交換の場は定期的に設けたいと考えており、既に 1 回集まっていたいて、コーディネーターの役割について、合併以降、浜田市がどういったまちづくりを進めてきたかといった話をさせていただいている。今後もこの様な研修会の場を踏まえながら、地域での活動を支援していきたいと考えている。

岡田教育長

ありがとうございました。コミュニティーナースについて私から補足をさせていただきたい。そもそもご高齢になって体調を崩された時に、施設や医療機関に繋げるだけではなく、まだ

まだ元気なうちから色々な地域活動に参加していただいて、その時に仲良くなる。コミュニティーナースが地域の活動に出かけて行って、そこで人との繋がりを作っていく。その中で相談に応じたり、体調を崩されそうな時に応援していく様な仕事をされる。三隅の井野地区で活動されているが、地域の方との地域活動の繋がりをどうやって出すかといった時に、地域の方は今、移動販売の仕事と組み合わせて、移動販売で出かけて行った先々で地域の方の様子を見ながら、健康サロンに来てみませんか等声掛けを行い、関係性を造りながら健康づくりに関わる仕組みづくりをしている。三隅がモデル的にスタートして、他のエリアにも広がっていくといいと思っている。

金本委員

ほとんどのまちづくりコーディネーターの方が月 17 日勤務であるが、金城の内藤さんは月 5 日ということで、週に 1 回の勤務になると思うが、その勤務日数の違いは。

永田副参事

内藤さんであるが、少し年齢も高いということもあって、できればということで私たちも月 17 日勤務で話をさせてもらったが、月 5 日でということであった。三隅と同じ様に月 12 日勤務、合計、最大月 17 日であるため、金城支所と一緒に人選をさせていただいているところである。

岡田教育長

元々は浜田市全体でコーディネーターを配置して地域に出かけていくという話であったが、地域のことをよく知っている方に最初は地域にいてもらってというかたちになった。人選する中で地域からも声を聞いているが、この方という方が中々見つからなかった。まちづくりの経験がない等、色々難しいという話もあったため、例えば内藤さんが月 5 日出られて、初めての方でも内藤さんと情報を共有しながら育てていく。そういったこともイメージしている。まだ、決まっていないという状況である。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

平岡副参事

青少年サポートセンター利用状況について(資料 12)

令和 2 年度の利用状況についてである。まず、延べ相談件数であるが、令和 2 年度は合計で 1,356 件の相談を受けている。令和元年度の延べ相談件数は 1,240 件であるため、全体としては増加している。

個人の問題は、性格・心情、発達障がい、その他疾病等であるが、個人の問題や非行問題の相談が増えている状況である。

次に相談対象人数であるが、これは実人数で令和2年度末の合計は70人、令和元年度末は84人であったが、進学や就学、それから支援が必要でなくなった方、転出された方も含めて年度当初は66人の方を対象としてスタートした。年度内に新たに4人の方が加わり、令和2年度末には70人となった。

次に若年無業者の状況について、これは学校あるいは職業に就いていない方の状況である。27人とあるが、ひきこもりの方が16人、ひきこもりではないが仕事についておられない方が11人である。

最後に居場所の利用状況であるが、これは延べ人数、延べ回数である。令和2年度の利用人数は延べ740人、1日の平均利用人数は3.19人であった。令和元年度は延べ973人であったため、約24%減少した。これは昨年までの緊急事態宣言の時に居場所の教室を4月20日から5月末まで休みにしたこと、それから夏休みや冬休みの学習支援事業も市総体等と日程が重なったことが主な原因である。利用者の方も密になることを避けて、利用を控えた方もおられ、この様に減ったのではないかと考えている。今もマスクの着用や利用者の方へ手指の消毒、体温測定、毎日施設内の消毒や換気を行っている。安心して利用していただける様に毎日務めている。

何か質問等はあるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

鳥居室長

令和2年度学力向上総合対策事業実績報告書（資料14）

先に資料14の令和2年度学力向上総合対策事業実績報告書について報告をさせていただき、それから資料13に入りたいと思う。1枚捲っていただき、目次の4番目、スーパーティーチャーによる教員研修のみ中止している。講師の方は大阪、岡山から来ていただくため、新型コロナ感染対策の観点から中止した。その他の事業については工夫をしながら実施をした状況である。個々の事業について、申し訳ないが簡単に報告させていただきたいと思う。特に協調学習、図書館活用について説明したいと思う。今、中学校の授業改善に課題があるということで、この2つの事業の中学校指定校として特に取り組んだこと

をご理解いただきたい。

まず、協調学習の研修について 8 ページをご覧ください、研修について載せている。8 月に開催した研修であるが、コロナ禍で遠くから講師の方を招くことができなかつたため、リモートで東京大学と繋いで研修を行った。2 日間行ったが、1 日目は県の教育委員会との合同研修を開催した。浜田高等学校が協調学習の指定校である関係で合同開催となった。2 日目は浜田市主催で行ったが、2 日間とも多くの高校の先生方に来ていただき、小中学校の先生との交流もできた。共に学ぶことができたことは非常に大きな意義があったと思っている。

11 ページからは協調学習研究指定校の取組について載せている。各学校 2 回の公開授業をして、各学校の先生方に見ていただいている。12 ページから事業評価を載せているが、4 回とも東京大学 CoREF の講師の先生とリモートでつなぎ、授業もリモートで見ていただき、研究協議会にも東大の講師の方に参加していただいて貴重なご指摘をいただいている。協調学習に取り組んでいる学校とそうでない学校の児童の意識調査をした結果、対話的で深い学びに関する意識は協調学習をやっている学校の子どもたちが 20 ポイント近く上回っている。これで成績が伸びたという訳ではないが、子どもたちにとって学びの実感を得ることができる手法であることは確であると思っている。今後も続けていきたいと思う。

それから図書館活用教育について 16 ページをご覧ください、第一中学校と金城中学校が研究指定校であるが、2 校の授業の単元名等を載せている。見ていただければ分かるが、図書館活用教育で扱う教科が増えてきている。色々な教科で取り組むことで図書館活用の事業の幅が広がってきていることが分かる。

簡単な説明で申し訳ないが、その他の事業、それから図書館活用、協調学習についても後でご覧くださいと思う。最後に協調学習であるが、中学校の中で協調学習に取り組んでいない 0 時間の学校は 1 校のみである。その他の学校には協調学習が広がってきている。ただし、時間数については取組に差があるところである。

第 1 回（4 月）市校長会資料（資料 13）

資料 13 であるが、昨年度の学力向上総合対策事業、県の学

力調査結果等々を踏まえて、今年度の学力向上推進室の方針について、校長会で提案したものを報告させていただく。

3番の学力向上推進室の学校訪問指導については、かなり改革をしている。我々がしっかり汗をかくということで、授業改善の説明を行うために新学期5月から6月にかけて各学校全て回る。それから訪問指導の回数を変更している。授業づくり段階からしっかり関わりながら、質の高い授業を行う。そして学力向上等に繋げていく方向でより頑張っていきたいと思っている。

岡田教育長

指定校の関係であるが、図書館活用教育では第一中学校と金城中学校が今年の指定校で、今年度は金城中学校と浜田東中学校であるか。

鳥居室長

そうである。

岡田教育長

協調学習については、昨年と同じであるか。

鳥居室長

そうである。

岡田教育長

それからICTを活用した授業改善では新たに周布小学校に取組んでいただく。ICTを活用した授業ではGIGAスクールで学校の先生方がどうしようかなとお悩みのところについて、周布小学校の校長先生が情報部会の会長であり、美郷町におられた時の経験等を活かして、周布小学校をモデルとしたことでよろしいか。

鳥居室長

そうである。

岡田教育長

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

田中課長

浜田市における東京2020オリンピック聖火リレーについて(資料15)

現在、既に聖火リレーが始まっているが、浜田市においては令和3年5月15日(土)14時04分に市長挨拶、出発式等を行い、14時14分からリレー開始となり、概ね終了時刻は14時47分である。

ルートについては、山陰浜田港公設市場、以前のお魚センターからスタートして、湾沿いを走った後に9号線に出て、原井小学校、ゆめタウン前を通過して最後に市役所前に到着のコースである。県内の実施ルートを資料の下に載せているが、1日目が5月15日、津和野町から浜田市を經由して最後に邑南町で

ある。2日目は5月16日、大田市から最終松江市までである。

資料の2枚目に交通規制のお知らせを付けている。リレー前後時間をとって12時30分から15時の間、この区間は通行止めとなる。途中、一方通行のところもあるため、現在、店舗等の説明に回っているところである。9号線が通れないということで、迂回路を裏面に載せているが、東西への移動は概ね浜田バイパスを使っていただく。それから瀬戸ヶ島からこちらに出るには、現在、港の荷捌き場の1番近くの道が通れるため、そちらから出ていただくように説明している。規制に伴い、バス路線等にも影響が出てくるが、そちらについては今後バス会社から様々な方法で周知されると聞いている。

ミニセレブレーションについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により規模を縮小して実施するため、委員方には案内をしていない。関係者等10名程度で出発を見送るかたちでの市長挨拶のみのイベントになっている。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の今期の営業終了について（資料16）

今期は令和2年11月21日から営業を始めて、5月6日までの営業を予定していたが、気温の上昇による冷凍設備への負荷が増大する恐れがあること、それから新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、営業終了日を令和3年4月18日（日）とした。

現在、指定管理者である北陽ビル管理株式会社から、外気温が上昇し設備への負担が一層増加する4月中旬以降を避けることにより、設備への負担を軽減し、来シーズン以降の安定した運営管理を行いたいと申し出があり、承認したものである。

また、例年春休み以降は利用者が減少傾向にあり、特に現在、新型コロナウイルス感染症が各地で蔓延する状況の中で、増加が見込めないということで承知したものである。周知方法については、アイススケート場玄関での掲示、施設ホームページ等で周知し、現在特別に混乱等は起こっていない。

国指定天然記念物三隅大平桜のき損について（追加資料）

追加で1点、報告をさせていただく。令和3年4月26日14時の浜田市職員の巡回時に、三隅大平桜のき損が発見されたた

め、報告をさせていただく。

き損内容であるが、資料の左側の写真で赤く囲ってある部分が裂けた状態で亀裂が見つかった。非常に高い部分で、3m から4m30 cmの間の亀裂で、長さは180 cm程度、最大幅30 cm程度の2本の太い枝の分かれ部にあたる。

き損原因については、4月上旬から中旬に吹いた強風によるものと思われる。き損発見後に樹医の現地指導を受け、き損状況の確認を実施した。その後、亀裂の入った直幹から伸びる2本の太枝の折損を防ぐため、各枝に仮設支柱を4月29日に設置した。

なお、現在は花見の時期を過ぎているため、三隅大平桜周辺は立入禁止としている。もう1枚、A4サイズの大きな写真を付けているが、こちらが昨日の状態である。5か所を今支えており、1か所あたりに数本の柱を立てている。現在は梯子も設置されており、これらは最終確認後に撤去していく。応急手当であるため、今後改めて樹医の指導もいただきながら最終的な対処方法に移っていく。具体的には、この柱は景観に配慮したものではないため、最終的には景観に配慮し、景観を損なわないような対処方法を検討していく。ただし、強風や台風等で非常に危険な状態になる可能性もあるため、今後の状態を注意しながら見ていきたいと考えている。

ご質問等はあるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

4 その他

(1) 令和3年度各課の年間スケジュール（資料17）

日ノ原係長

毎年提出している各課の年間スケジュールの令和3年度版である。新型コロナウイルスの関係で、委員方に案内をできるかどうかというところが昨年と同様に難しい部分もあるが、予定している行事等分かっている行事については掲載しているため、ご確認いただければと思う。よろしく願います。

岡田教育長

各課の年間スケジュールの予定ということで、出席要請が必要なものについてはその都度ということで参考までにご確認いただければと思う。

その他、配布資料についてはよろしいか。

日ノ原係長

行事等予定表の備考欄にも記載していた別添チラシを添付し

岡田教育長 | ているため、またご覧いただければと思う。
以上で本日予定していた議題及び報告事項について、事務局からの説明が全て終了した。

(2) その他

岡田教育長 | その他のところで委員方からご報告やご質問があればお願いします。

各委員 | 特になし。

次回定例会日程

定例会 5月27日(木) 13時30分から 金城山村開発センターみどり
かいかん中集会室

次々回定例会日程

定例会 6月30日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

15:16 終了